

ふれあい通信 平成25年7月号



発行：国保坂下病院広報委員会 TEL 0573-75-3118

ホームページアドレス <http://www.takenet.or.jp/~hospsaka>

「ふれあい通信」は坂下病院ホームページでも御覧いただけます

連載こくは四山山誌



病院長 高山 哲夫

(95) データ操作

最近、製薬メーカーに関する事件がマスコミの話題になっていきます。その製薬メーカーの社員が、自社製品の臨床的効果を検討する研究グループに参加し、データの統計処理を担当し、その際に自社製品に有利なようにデータを改ざんしたと云うものです。身分を隠して研究グループに参加したことも問題になっていきます。今回の事件は既に市販されている薬剤に関するものですが、薬の開発には大変な年月、労力、そしてお金がかかります。それこそ20年に近い年月をかけています。

以前にも書きましたが、私自身も新薬の開発に関係したことが数回あります。そして、残念なことに、開発の最終段階で、既に開発されている類似薬と効果に大差がないことがわかり、開発が中止になったことも経験しました。「人生の中で一つ新薬が開発出来れば幸運」と懇意な元製薬メーカー社員の方が言っていました。それだけに、開発を断念した時の開発担当者の気持ちや痛い程わかります。190センチを越える野球選手と私の身長の下

うに、誰が見ても明らかな差があれば問題はありません。でも、薬の効果はそんなように、なかなかはっきりした差が出るものではありません。

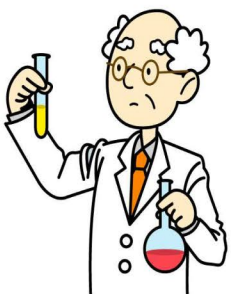
何とか差が出ないものか、担当者は考えます。相撲の新弟子検査の時に、身長足りない者が何とか合格しようと背伸びをしたり、頭にたんこぶを作って身長検査を受けることもあります。「それで差が出なければ、こっちの統計法で計算してごらん。差が出るかも知れない。」大学での研究生活の時に、上の先生から言われた言葉です。薬の開発同様、今行っている研究を何とか意味のあるものにした。意味のある差にしたい。そんなことから統計学をあれこれいじり、何とか差をつけようとするのです。

そんなにまでして差を出したって仕方ないと私は思います。そんなように、何とか差を出したいとあれこれ操作する開発の裏を知っている私は、メーカーさんの宣伝はあまり信用しません。自分自身が使用し、その手ごたえのある薬を主に使います。でも、世界的に使用される薬の量のデータを見ますと、見事に私自身の選択と一致します。言い換えれば、臨床の先生方は私と同様、決してメーカーさんの宣伝に左右されていない。使用

した感触で薬剤を選択されているのだろうと思います。

さて、今回の事件では、データの改ざんが問題となりました。科学者にとり、データを偽ることは、最も恥じるべきことです。データを偽ってノーベル賞を授与されたり有名になっても仕方ない。その嘘はいつかは暴かれるものです。これも大学時代の経験です。

あるメーカーに依頼され、新しい検査法を検討していた時です。同じように依頼された他大学の先生方は、その検査法を評価する結果を出しました。しかし、私は臨床にはあまり使えないと結果を出しました。その結果、その後何年か、私の研究室にはそのメーカーからの研究依頼は来なくなりました。干されたのです。臨床に導入されたその検査は、今ではほとんど行われません。そんな検査法があるとは知らない医師も多いと思います。多くの大学がメーカーの意向に沿ったデータを出す中で、真実をきちんと述べた私の研究室の姿勢に今でも誇りを感じます。研究を依頼された各大学の先生方がそのような姿勢でいれば、今回の事件も起きなかつたように思います。



医師のひとりごと

外科 堀部 文倫

謹啓、梅雨の候 ますます御清栄のことと御慶び申し上げます。さて私事ではございますが、この度国保坂下病院にて5ヶ月プラス1ヶ月研修させて頂く事になりましたので、自己紹介させて頂きます。

愛知医科大学病院から参りました、研修医2年目の堀部文倫です。年齢は28歳で、身長は170cmと言いたるところですが、もう少しだけ低めです。体重はここ2年間で7kg程増えましたが、そこには知識が詰まっているから・・・などの言い訳を考えながら、日々脳内ダイエットをしております。

さて、私の生い立ちですが、生まれも育ちも千葉県です。しかし、中学校2年生の時の修学旅行で馬籠・妻籠の方まで来た記憶があります。その修学旅行の思い出として、宿泊した旅館がとても歴史のある旅館で、入り口には小判が飾ってあったこと、その後就寝前に同級生で枕投げが始まりましたが、途中から原因不明の涙・咳・鼻水にやられて2時間ばかりか外で星を見ていたことが挙げられます。



今考えると、その時にホコリアレールギーが発症したんだな、と思います。

そのおかげ？で、掃除をする時は窓全開、マスク・眼鏡着用でいくらかは症状が楽になるものだ、自分自身の体で勉強させてもらいました。みなさんも掃除の時はできるだけアレゲン(アレルギーの原因)の暴露を抑えるようにしてくださいね。

14年後、同じ地域でこのような仕事をしているとは想像もつかなかったのですが、昔の自分に笑われないためにも、ここで働く時間を無駄にしないように、日々、外科の近藤先生・高木先生、その他の先生や看護師さん、技師さんと共に、患者さんの親身になって病気のことを考えますので、気軽に相談して下さい。 敬具



やさか健康福祉まつり

坂下病院実行委員長

青山忠弘

6月2日(日)第19回やさか健康福祉祭りが開催されました。今年も、例年よりも梅雨入りが早く、不安定な天候でしたが、136名もの方々にご来場いただきました。坂下病院は健康コーナーとして血圧測定、身体測定、骨密度測定、視力検査、頸動脈



エコー、体力測定、医師相談に加え新たに認知症チェックを企画しました。中でも認知症チェックは、皆さん内心「私は大丈夫かな...？」と気になっていた企画のようで、和気あいあいと盛況でした。さらに今年は一室を設けて、坂下病院人形劇団によるDVDを上映し、午後からはインフルエンザに対する感染対策の講習会も行いました。こちらも大勢の方々にご参加いただきました。



盛況な様子

認知症チェック 実施風景



インフルエンザ感染対策講習会



こんには栄養科です

糖質制限食の

落とし穴?!



糖尿病治療やダイエット法として、今話題の「糖質制限食」(低炭水化物食)。最近、テレビや新聞、雑誌などで、目にする事が多いかと思えます。

糖質制限食とは、糖質を多く含むご飯やパンなどの主食を食べなかつたり、量を減らしたりする食事療法のことです。糖質をとらないことで食後の血糖値の急激な上昇を抑え、糖尿病の悪化を防いだり、脂肪を溜め込む作用のあるインスリンの分泌を減らし、減量につなげるという考え方です。

しかし、問題は、糖質をどれだけ制限し、どのように行なうべきか基準がないことです。極端な糖質制限は危険な状態に陥りますし、長期に続けると脳卒中や心筋梗塞の危険性が高まるとの研究も発表されており賛否両論です。

患者さんから糖質制限ダイエットはどのような?と聞かれることがあります。確かに短期的な効果は得られるかもしれませんが、糖質は体にとって重要なエネルギー源

なので、過不足なくする必要がります。また、無理なダイエットはリバウンドを引き起こしかねません。

「これを実行すれば必ず健康になる」という方法はありません。何よりも『主食・主菜・副菜の揃ったバランスのよい食事と適度な運動』を習慣づけることが、健康への第一歩ではないでしょうか。

糖尿病教室(続)



4月20日(土)、坂下病院の糖尿病教室を行い、30名以上の方に参加していただきました。運動については5月号で紹介しました。今回は、薬のお話と口腔ケアの話について紹介したいと思います。

薬の話は、薬剤師から説明がありました。一般的な内服薬の飲み方などの話と、糖尿病の薬がどうやって血糖値を下げているかを、イラストを使って分かりやすく説明しました。人によって服用している薬は違うので、説明後に皆様から質問を受け、個別に説明も行いました。

口腔ケアの話は看護師が説明しました。血糖値と歯周病の関係や手歯の磨き方、入れ歯の手入れ方法などを紹介しました。糖尿病になるなど免疫力が低下するので、歯周病に

なりやすく治りにくいことが知られていきます。一方で、歯周病を治療すると血糖がコントロールしやすくなるなど、歯周病の改善が糖尿病の改善に関係することが近年報告され、注目を集めています。次回の糖尿病教室は9月28日(土曜日)を予定しています。興味のある方は、誰でも参加できますので気軽に参加してください。



連載 四季の画

坂下病院 花暦

今月の花: (ドクダミ)

ドクダミは、ドクダミ科ドクダミ属の多年草。古くは「之布岐(シブキ)」と呼ばれていた。「ドクダミ」の名称は「毒矯み」(毒を抑える)から来ている。開花は5~7月頃で、茎頂に4枚の白い総苞(花弁に見える部分)のある棒状の花序に淡黄色の小花を密生させる。強い臭気があるが、加熱すると和らぐことから、テンプラなどにして賞味されることがある。また、葉を乾燥させると「ドクダミ茶」となる。生薬、漢方として用いられることで知られている。



季節の画を提供して下さる三浦貞夫さんは木曾郡南木曾町田立在住。現在もリハビリをしながら絵を描き続けており、その作品はリハビリ室前の廊下にも掲示されています。

職員募集！ 医師・看護師・准看護師

『一緒に地域の医療を守りませんか。』

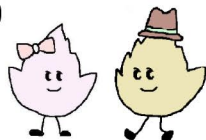
勤務内容、勤務時間などは相談に応じます。気軽にご相談ください。

お知り合いに医師・看護師・准看護師がみえましたらご紹介下さい。

電話 0573-75-3118 内線 210 担当：松本看護部長



お待ちしています



☆ お知らせ ☆

| 催し物 | 日時・場所 | 内容 |
|---------|------------------------------------|---|
| 糖尿病食試食会 | 7月18日(木) 7月29日(月) 午前11時～3階食堂 | 予約：坂下病院栄養科(内線164) お電話でおねがいします。 会費：300円(食材費) |
| 糖尿病教室 | 9月28日(土) 10時～ | 栄養：食事バランスと間食 運動：ウォーキング、室内運動 |
| ふれあい健康塾 | 未定です。 | 未定です。 |

☆坂下病院各科診療表 診療状況により予約時間どおりには受診できない場合があります。予めご了承ください。

(平成25年7月現在) 予約変更などのお問合せは、平日午後2時以降に各科受付窓口へお願い致します。

| 診療科目 | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | |
|-------|--------------|----------|----------------------|-------------------------------|--------|-------------|
| 内科 | 第一(予約) | 高山 | 酒井 | 高山(午前) | 高山(午前) | 酒井 |
| | 第二(予約) | | 緒方【呼吸器】 | 伊藤 | 高塚 | 田口【呼吸器】午後 |
| | 第三(予約) | 信太(午前) | 村瀬 | 信太 | | 高塚(午前) |
| | 新患外来 | 酒井 | 高塚 | 告野 | 信太 | 高山 |
| | 午前内科 | | 大野【神経内】第3 | | | 佐橋【神経内】第1.3 |
| | 午後診療特殊 | | | 井上【漢方】第2.4 13:00～ 青木【腎臓】隔週 | | 渡邊【腎臓】隔週 |
| | 午後診療 | 高塚 | 高塚 | 告野 | 酒井 | 信太 |
| 外科 | 第一 | 柴田 | 保坂【血管外科】 | 高橋【血管外科】 | 高木 | 水野 |
| | 第二 | 近藤 | 近藤 | 高木 | 近藤 | 高木 |
| 整形 | 第一 | 小嶋【リウマチ】 | 小松 | 小澤 | 小松 | 小松 |
| | 第二 | 矢野 | 米田 | 矢野 | 矢野 | 山下 |
| 小児科 | 杉本 | 杉本 | 杉本 | 杉本 | 杉本 | |
| 眼科 | 木下 受付11:00まで | 木下 | 木下 受付11:00まで | 木下 | 木下 | |
| 泌尿器科 | 渡邊 | | 渡邊 | 山田 第1.3.5 青木 第2.4 | 深津 | |
| 耳鼻咽喉科 | 和田 | 西村 | 清水 | 片平 | 稲川 | |
| 皮膚科 | | | 伊能 第1.3.5 松本 第2.4 | | | |
| 脳神経外科 | | | | 大須賀 14:00～ | | |
| 婦人科 | | | | 浅井 第1.3 | 萬羽(午前) | |